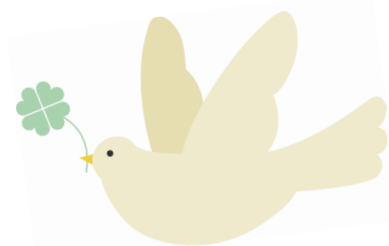


連携医療機関の先生方へ



新型コロナウイルスに対する当院の診療体制について

当院では感染の拡大を最小限にとどめるため、最大限の防護策をとって、全職員が緊張感を保って業務に従事しています。また、常に新しい情報を取り入れ、対応可能な最大限の範囲で柔軟に診療態勢を更新し続けています。その一つとして、令和2年6月から全身麻酔手術の全患者さんに、12月からは全ての入院患者さんにPCR検査を実施しております。地域の医療機関の皆様とともに、お互いがんばってこの地域の医療を守り抜いていきたいと考えています。

当院は感染症病床としては6床と限られた病床数を有効に利用するため、新型コロナウイルス感染症の患者でも軽症から中等症までの患者さんを受け入れるよう要請されています。入院患者さんの中には重症化する方もおられますが、このような場合にも対応しています。

また、周産期や小児の患者さんも当院で積極的に対応しています。このため、周産期（妊娠22週以降）や小児の患者さんについて、6床を超えて10床まで受け入れるとともに、新生児用として3床確保しています。

それとともに、このコロナ禍の中で守っていかないといけないのが、これまで同様、癌や脳血管疾患、周産期疾患、小児疾患で苦しんでいる患者さんを救うための医療です。

地域を守り、命を守り、安心を提供するために、地域の皆様と連携・協力し合って切り抜きたいと考えています。今後とも引き続きのご支援ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

令和3年5月
姫路赤十字病院

